

平成 31 年度 春日東野幼稚園自己評価公表シート

作成 学校法人谷野学園 春日東野幼稚園

1. 本園の教育目標

- ともだちと楽しく遊び、明るくがんばれる子を育む。

上記を目標に

「身の回りのことをできる子」「元気に遊ぶ子」「思いやりのある子」「表現豊かな子」「がんばる子」を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

① 子育て支援の更なる充実

- ・保護者の意見、ニーズを取り入れ広範囲に充実を図る

② 一時預かり事業の充実

- ・上記の子育て支援の充実と重複する項目であるが、特に重要であり、充実させるための設備、人材確保等、多岐にわたる内容となるので別課題として上げ、充実を図る。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	取り組み状況	評価	達成度
①	長期休み中の預かり保育実施 未就園児教室の実施 親子教室の実施 地域小学生対象学童保育の実施 満3歳児クラス開設決定・準備	ここ数年間継続して取り組んでいる項目で、一定の成果が出てきている。 特に平成31年度は長年の計画であった満3歳児クラスの開設が決まり（令和2年度より受け入れ）、子育て支援の充実ができた。今後も保護者のニーズを取り入れて、次年度以降も重点的な取り組みが必要な項目とする。	A
②	一時預かり事業の充実	・0歳からの一時預かり事業も徐々に拡充して来たが、まだまだ十分とは言えず、安全を重視したうえでの保護者の利用のしやすさや人材の確保など、課題が残った。	B-

達成度の表示方法 【A】：充分達成されている

【B】：達成されている

【C】：取り組まれているが成果が充分ではない

【D】：取り組みが不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な結果評価

本年度の重点課題としていた項目で、子育て支援の充実に関しては満3歳児クラスの開設決定など、大きく前進した部分もあり、おおむね達成できたと考えている。ただし、本園が最重要項目としている内容であり、今後も継続し拡充に取り組んでいく。

一時預かり事業については、一定の評価は得られたが、安全を確保したうえでの利用のしやすさ等、課題があった。人材確保も思ったように進まず、今後も継続して充実に取り組み、より良いものにしていきたい。

5-1. 今後取り組むべき課題（令和2年度の重点目標）

課 題	具体的な取り組み方法
子育て支援の更なる充実（継続）	・引き続き、保護者の意見・ニーズを取り入れ広範囲に充実を図る
一時預かり事業の充実（継続）	・上記の子育て支援の充実と重複する項目であるが、特に重要かつ充実させるための設備、人材確保等、多岐にわたる内容となるので今年度に引き続き、別課題とする

5-2. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
感染症対策の徹底	・新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、様々な取り組みを行ってきたが、未知のウィルスであり、その場その場の対応となった部分もあった。関係各所と協力し、徹底するため、マニュアル等を見直していく。

5-3. 今後取り組むべき課題（長期的課題）

課 題	具体的な取り組み方法
園舎の耐震強化工事	・耐震診断では問題は見られなかったが、東日本大震災や最近の大阪北部地震を受け、改修予定を設定すると共に、必要であれば耐震強化を行うための計画を検討する。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。